

資料提供
令和4年12月1日
課名 新型コロナウイルス感染症対策担当
(感染症・疾病管理センター)
担当者 西川
電話(直通) 082-513-3068
(内線) 3068

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和4年11月解析分)

1 今月のトピックス

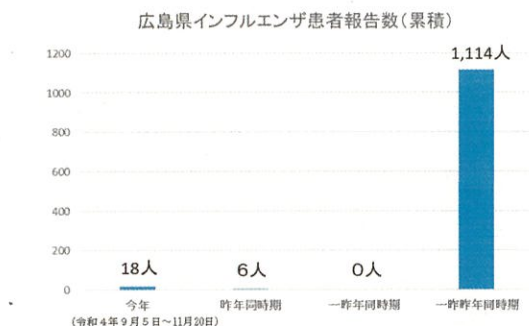
■ 今シーズンのこれまでのインフルエンザ報告数は、昨年同時期と同じく極端に少ない状況。これからも油断せず、対策をしっかりとって過ごしましょう。

季節性インフルエンザの発生状況について、36週～46週（令和4年9月5日～11月20日）の定点医療機関（県内113施設）からの患者報告数は、昨年同時期と同じく極端に少なくなっています。

昨シーズンは、冬になってもインフルエンザの報告数は例年に比べて少ないままで、コロナ禍での感染症対策の効果などが要因と考えられています。

ただし、この先も、空気が乾燥して気道粘膜の防御機能が低下するなど、インフルエンザにかかりやすい時期が続きます。また、今冬は季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されています。

右記の対策を十分に行い、インフルエンザを予防しましょう。



■ インフルエンザを予防する有効な方法

- ・ 流行前のワクチン接種
- ・ 外出後の手洗い等
- ・ 適度な湿度（50～60％）の保持
- ・ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ・ 人混みや繁華街への外出を控える

■ 12月1日は「世界エイズデー」

WHO（世界保健機関）が1988年に、エイズのまん延防止や患者・感染者に対する差別偏見の解消を目的として、12月1日を「世界エイズデー」と定め、エイズに関する啓発活動などの実施を提唱しました。

運動のシンボルであるレッドリボンには、エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージが込められています。

広島県においても、12月1日を中心に、啓発活動などを実施しています。

また、県ホームページから検査の日程等も確認できますので、検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検ください。世界エイズデーに合わせ、検査時間を延長する保健所などもあります。



広島県 エイズ検査

検索

■ レプトスピラ症をご存知ですか？

レプトスピラ症は病原性レプトスピラの感染によって引き起こされる人獣共通感染症です。

全国では例年30件程度の発生があり、その大半は沖縄県ですが、この度、当県においても県内3例目のレプトスピラ症患者の発生がありました。

病原性レプトスピラは保菌動物（ドブネズミ等）の尿中に排出され、人は菌を含む尿に汚染された水（淡水）や土壌に触れることで感染します。

当県における感染事例では、台風後の泥水における作業中による負傷が感染原因と考えられました。台風や土砂災害後の作業時には、丈夫な手袋や底の厚い靴を着用し、肌の露出をしない服装をしましょう。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 4年 10月分(令和4年10月3日～令和4年11月6日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	10	0.02	0.28	↗	10	ヘルパンギーナ	123	0.35	0.45	↗
2	RSウイルス感染症	273	0.78	1.06	↓	11	流行性耳下腺炎	12	0.03	0.11	↑
3	咽頭結膜熱	41	0.12	0.27	→	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	126	0.36	1.09	↗	13	流行性角結膜炎	16	0.17	0.52	↘
5	感染性胃腸炎	975	2.79	3.07	→	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	13	0.04	0.18	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	234	0.67	0.91	→	16	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.09	
8	伝染性紅斑	7	0.02	0.09		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	67	0.19	0.32	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 4年 10月分(10月 1日～10月 31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	75	3.26	2.75	→	23	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	71	3.55	3.65	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	17	0.74	0.93	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.20	
21	尖圭コンジローマ	17	0.74	0.71	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.02	
22	淋菌感染症	38	1.65	1.13	↑						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)
 ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	流行性耳下腺炎	(0.01	→	0.03)
	淋菌感染症	(0.74	→	1.65)
○急減疾患	RSウイルス感染症	(1.69	→	0.78)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~11	12, 13	19~22	14~18, 23~25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	16	結核(16)〔広島市保健所(9),福山市保健所(1),呉市保健所(1),東部保健所(5)〕
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症(6)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(3),西部東保健所(1)〕
四類	29	レジオネラ症(1)〔広島市保健所(1)〕
		レプトスピラ症(1)〔東部保健所(1)〕
		デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕
		つつが虫病(3)〔西部保健所(3)〕
五類	51	日本紅斑熱(23)〔広島市保健所(3),呉市保健所(4),福山市保健所(6),東部保健所(9),西部保健所(1)〕
		急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(8)〔広島市保健所(1),福山市保健所(3),呉市保健所(1),西部保健所(1),東部保健所(1),西部東保健所(1)〕
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔呉市保健所(1)〕
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔西部東保健所(1)〕
新型インフルエンザ等感染症	32,565	後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)〕
		梅毒(39)〔広島市保健所(27),福山市保健所(7),呉市保健所(2),西部東保健所(1),東部保健所(2)〕
		新型コロナウイルス感染症(32,565)〔広島市保健所(13,783),呉市保健所(1,590),西部保健所(3,729),東部保健所(2,617),福山市保健所(6,449),西部東保健所(3,159),北部保健所(1,238)〕